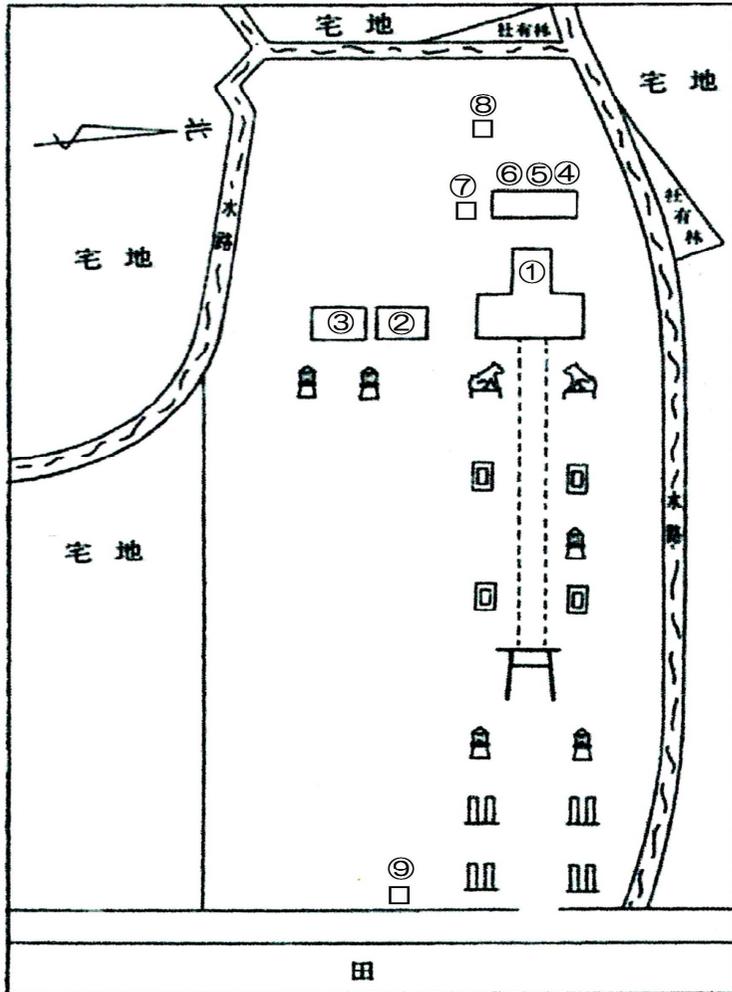


郷土こぼれ話

地域の神様 八幡神社の神々



① 八幡大神

・祭神＝菅田別命（ほんだわけのみこと）（応神天皇）

・御利益＝武家に広く信仰された。八幡様は戦前までは武神として崇められていました。戦後平和観念が浸透していくなかで、教育や縁結びなど日常生活に根ざした諸願成就の神へと変化していきました。

② 八坂神社

・祭神＝素戔鳴尊（すさのおのみこと）

・御利益＝厄除け・疫病退散・病氣平癒・家内安全・良縁成就・商売繁昌・開運成就などのご利益があるとされています。

③ 諏訪神社

・祭神＝建御名方神（たけみなかたのかみ）

・御利益＝諏訪明神は古くは風・水の守護神で五穀豊穡を祈る神。また武勇の神として広く信仰され、現在は生命の根源・生活の源を守る神とされています。

④ 弁財天

・祭神＝貧困を救い財物を与える天女で、七福神の一人。

・御利益＝「人々に弁才、無尽の智恵、財宝、延命を与え、さらに悪夢・邪気・呪術・鬼神などの人を惑わすものどもを排除し、病苦や疾病、闘争などからも遠ざける」とされています。

⑤ 天満宮

・祭神＝菅原道真を祭神とする神社。

・御利益＝菅原道真公が幼少の頃から勤勉であったことから、道真公が「学問の神様」として信仰対象になり、現代では「受験の神様」として祀られています。

⑥ 大日如来

・太陽を司る毘盧舎那如来（びるしゃなによらい）がさらに進化した仏である。真言密教の教主。宇宙の実相を仏格化した根本仏であり、一切の現実経験世界の現象はこの如来そのものであると言われます。

⑦ 行人塚（ぎょうにんづか）

・出羽三山の信者たちが参拝記念に作る供養塚と言われます。

⑧ 不明

⑨ 庚申塔（こうしんとう）

・中国より伝来した道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられた石塔のこと。

文：むらた ひとし